

第2回定例会

定例会の概要

6月19日(火)から7月6日(金)までの18日間の会期で第2回定例会が開かれました。

知事から総額41億7,000万円余の平成30年度補正予算案及びこれに関連する議案等9件、議員及び委員会から決議案等9件が提案され議決されました。

本会議においては、行政事務全般にわたり、知事などに対し、道政が直面する諸課題について19人の議員による一般質問が行われました。

また、「平成30年度北海道一般会計補正予算(第1号)」などについて、予算特別委員会を設置し審査するとともに、各常任・特別委員会においては、付託された議案について、審査を行いました。

主な議決の状況

◎ 知事提出案件

【予算案】2件 ☆平成30年度北海道一般会計補正予算(第1号) など

【条例案 / その他案件】4件 / 3件

☆北海道病院及び診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案 など

◎ 議員・委員会提出案件

【決議案】1件 ☆受動喫煙ゼロの実現を目指す決議

【意見案】8件 ☆地方自治体における消費者行政の充実・強化を求める意見書 など



本会議場の議員席からの風景

本会議(一般質問)や予算特別委員会の主な議論

【JR北海道の路線問題】収支改善が見込めない場合の路線廃止を含めたJR北海道の検討方針について

【統合型リゾート事業】地域経済や雇用、ギャンブル依存症対策など、今後の考え方や誘致の判断について

【人手不足】業種業態にあわせ関係各部署が連携した重点的な政策資源の投入や外国人労働者の受け入れなど、今後の対応について

【主要農産物種子法】稲、麦、大豆の種子生産を都道府県に義務づけた主要農作物種子法廃止後の対応について

【林業大学校】カリキュラム内容や学校の運営体制の構築など、具体的な取組について

【医師の地域偏在対策】地域枠制度の安定的な運用と実効性の確保について



定例会の詳細は、道議会ホームページもしくは議会時報をご覧ください。道議会ホームページへのアクセスはこちら

定例会キーワード

議会では、こんなことが議論されている!!

地域医療対策(地域枠制度)

北海道では、都市部に医師や看護師が集中する地域偏在が問題となっています。医師や看護師を目指す学生に対し特定条件を満たすと返還不要となる奨学金を貸与するなど、将来の地域医療を支える医師や看護師の確保に努めています。



自分だから出来ること
自分だけに出来ないこと
北海道の医療を支えること

ブラックジャックによろしく/佐藤秀峰

看護師を目指してみませんか?

☆ 道立の看護学校の他、保健師・助産師・看護師になるための大学・養成所が約60校もあります!!

☆ 毎年「ふれあい看護体験」として、地域の病院等で一日看護体験を実施♪

☆ 将来道内において看護業務に従事しようとする看護学生に対して、修学に必要な資金の貸付を行っています。(就業状況に応じて返還免除要件あり)



医師→



看護師→



地域で活躍する医師や看護師を目指しませんか!

医師→

看護師→

人手不足(人材確保に向けた連携事業)

平成30年3月に立ち上げた「北海道人材確保対策推進本部」を通じ、「若者の道内定着」「道外からの人材誘致」「外国人材の活躍推進」の3つをテーマに、各部署の関連事業の実施段階における連携を一層強化し、業界等の情報や魅力の発信、就業の促進、受入環境の整備などの取組を推進しています。

若者の道内定着取組例

スマート農業実践講座



じもと×しごと発見フェア



詳細はHPへ

北海道 人材確保に向けた連携事業

検索

宇宙産業の育成

人工衛星のデータを利用した新たなビジネスの育成や、小型ロケットを開発する民間の取組を支援するほか、若者たちの宇宙への関心を高める取組を推進しています。

北海道の民間企業が小型ロケットを開発



インターステラテクノロジズ提供

詳細はHPへ



宇宙チャレンジ 衛星協議会

高校生を対象とした宇宙ビジネスを学ぶツアー



モデルロケット体験教室

